

# 子どもたちが真っ当な大人に成長する "ご縁づくり"

Kina Career Education School 事業  
地域協育振興プロジェクト説明資料

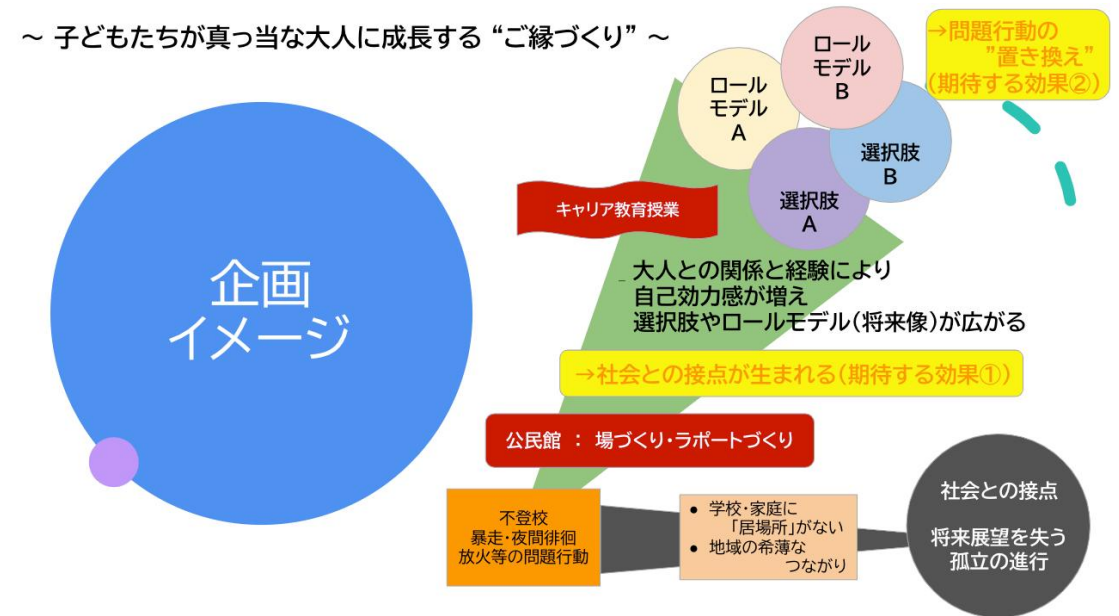
(主催) 喜名自治会 / (共催) 株式会社琉球のタネ

2025年8月5日

# 1.プロジェクト概要

本プロジェクトは、喜名自治会と株式会社琉球のタネが連携し、地域の子どもたちのキャリア教育を推進するものです。学校や家庭に居場所を見つけにくい子どもたちに対し、地域とのつながりを通じて自己肯定感・将来への希望を育み、子どもたちが真っ当な大人に成長する“ご縁づくり”を目指します。

- ✨ 自己肯定感の育成
- 🌟 将来への希望の創出
- 🤝 真っ当な大人への成長をサポートする  
"ご縁づくり"



## 2. 背景と目的

---

### 背景

- 読谷村の一部地域において、学校や家庭に「居場所」がないために、子ども達の問題行動が目立ちはじめ、大人と子どもが安心して暮らすことのできる“地域づくり”が求められています。
- また、子ども達を支える地域のつながりも、高齢化や子育て世代の地縁団体活動離れにより、年々薄れつつあります。

### 目的

- 本プロジェクトでは、大人との「関係」と「経験」を通じて、子どもたちが自分自身の未来像を描く力（自己効力感）を育みます。
- また、多様な地域の大人たちとの「ご縁」を提供し、子どものロールモデルを育みます。
- さらに、子どもたちが安心・信頼でき（所属）、自分自身の可能性を信じ（自尊心・承認）、将来に向けて努力（自己実現）する接点（喜名公民館）を作ります

## 3.主な取り組み

### ① 子ども向け（キャリア教育授業）

- 🤝 関係づくり（ほっぷ）：月曜午前
  - 公民館での学習や食支援を通じて、大人との信頼関係を構築
- 🚶 地域探訪（すてっぷ）：月1～2回
  - 地域の「日常の現場」を訪問・観察し、自己理解を深める
- 📁 職場体験（じゃんぷ）：状況に応じて
  - 個別マッチングによる職場体験で、将来のロールモデルとの"ご縁"をつくる

### ② 保護者・支援者向け取り組み

- 📖 子育て勉強会（月1回）
  - 発達編：小学生低学年の保護者向け
  - 勉強編：小学5年～中学生の保護者向け
  - 進路編：小中高生の保護者向け
  - 費用：保護者500円、支援者1,000円、自治会員無料
- 🤝 地域連携会議（隔月開催）
  - 目的：情報共有と連携体制構築
  - 参加者：自治会長、PTA、民生委員、村議員、商工会、福祉・農業従事者、学校行政、警察、など

## 4. 実施体制・役割分担

(実施体制)

主催：喜名自治会

共催：株式会社 琉球のタネ

協力要請機関：

読谷村・教育委員会・青少年センター・警察・社会福祉協議会・商工会・福祉農業関係者・PTA・民生委員・ファミリーサポートセンター・村議員 など

(役割分担)

主体	主な役割
自治会（事業主催）	事業決定・予算管理・会場提供・広報
琉球のタネ（運営共催）	プログラム設計・キャリア教育実施
教育委員会	学校調整協力・COCOLOプラン連携
子ども未来課	移動費・送迎車両・調整業務
学校（小・中）	児童情報共有・保護者連絡協力
商工会	講師・体験先企業紹介
民生委員・福祉機関	家庭支援・食支援連携

# 5.スケジュール

実施内容	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事前準備	→						
関係づくり		毎週月曜	→	→	→	→	→
地域探訪		月1～2回	→	→	→	→	→
職場体験			個別実施	→	→	→	→
子育て勉強会		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	
地域連携会議	初回		第2回		第3回		第4回

スケジュールは、自治会行事等を優先して調整し、変更する場合があります。

## 6.連携協定

---

喜名自治会と株式会社琉球のタネは、本プロジェクトの推進に関する連携協定を締結しています。  
有効期間は2026年3月31日までです。

## 7.関連する法令・制度

---

- 学校教育法 … コミュニティ・スクールの根拠規定に基づき、自治会と学校が協働で教育活動を推進します。
- 児童福祉法 … 子どもの健やかな育成のため、市町村が居場所づくりや学習支援事業を行います。
- 社会教育法 … 公民館など社会教育施設の運営や講座開催の基本法です。
- 教育機会確保法 … 不登校の児童生徒に対し、学校外の学習支援を後押しします。
- 障害者差別解消法 … 障害のある利用者への合理的配慮を求める法です。
- 子どもの貧困対策推進法 … 経済的に厳しい家庭の子どもへの学習支援や居場所づくりを推進します。
- COCOLOプラン … 不登校の児童生徒に「休養の必要性」を認め、多様な学習の場や支援を提供する国の新しい不登校対策です。

## 8. プロジェクト詳細

### Q1.本プロジェクトの主な目的は何ですか？

本プロジェクトは「子どもたちが健全な大人に成長するご縁作り」を目的としており、学校に限定されない実践的なキャリア教育を提供します。特に、不登校、問題行動、居場所がないといった課題を抱える小中学生、および進路未決定の中学卒業生を対象としています。自己肯定感の向上、社会との接点の創出、地域社会との信頼関係構築を通じて、子どもたちが将来の目標を見つけ、自立した生活を送れるよう支援することを目指しています。


### Q2.どのような子どもたちがこのプログラムの対象となりますか？


主に不登校、問題行動、居場所がない小中学生が対象ですが、進路が未決定の中学卒業生も含まれます。参加人数は10名から13名程度を想定しており、少人数のグループに分けることで、子どもたちが安心して参加できる環境を整えます。特に、地域の中で居場所を見失っている子どもたちに焦点を当て、彼らが社会との接点を持ち、自己肯定感を育むことを重視しています。




### Q3 プロジェクトでどのような具体的な取り組みが計画されていますか？

大きく3つの段階的な取り組みが計画されています。

 関係構築と学びの場（週1回）：大人との信頼関係を築くことを目的とし、公民館で週1回、午前中に実施されます。給食提供を兼ねた「食支援」を行い、地域資源の学習や職業講話を通じて、子どもたちが得意なことを見つけ、コミュニケーション能力を養う機会を提供します。

 地域探訪（月1～2回）：関係性が構築された後、子どもたちが地域のスーパー、観光案内所、農協、デイサービスなどを訪問し、様々な職業や社会の仕組みを学びます。これにより、子どもたちの行動範囲と視野を広げ、地域社会への関心を深めます。

 職場体験: 上記の取り組みを通じて、子どもたちの態度や振る舞いに変化が見られたタイミングで、個別の職場体験を実施します。これは、子どもたちが将来の選択肢を具体的に考え、自己実現に向けた一歩を踏み出すための重要なステップとなります。

#### Q4.保護者や地域住民はどのようにこのプロジェクトに関わることができますか？

保護者向けには、月に1回「子育て勉強会」を開催し、発達特性を持つ子どもたちへの理解を深める機会を提供します。また、地域全体で子どもたちを支える体制を構築するため、数ヶ月に1回「地域連携会議」を開催します。この会議には、自治会長、学校、PTA、民生委員、行政、警察、商工会、農協、福祉関係者などが参加し、地域全体で子どもたちの成長を見守り、支援する方法を話し合います。

#### Q5.子どもたちの参加を促すための工夫はありますか？

子どもたちの参加を促すために、いくつかの工夫が凝らされています。まず、週1回の活動では「食支援」として食事を提供し、参加への動機付けとします。これは「お腹が空いていなければ、悪いことをしない」という考えに基づいています。また、子どもたちが一人ではなく、友達と一緒に参加しやすいよう、数名でのグループ参加を推奨しています。さらに、活動への参加記録を「キャリアパスポート」のような形で残し、子どもたちの努力が認められる仕組みを導入することで、自己肯定感の向上につなげます。

## Q6.資金面と運営体制はどのようなになっていますか？

本プロジェクトの 主催は「喜名自治会」とし、県内大学・高校・中学・小学校および地域でキャリア教育事業実績のある（株）琉球のタネが業務提携の形で協力します。予算は行政からの支援を基本とし、不足分は企業からの協賛金と参加費収入で補うことを想定しています。企業協賛については、キャリア教育教材に協賛企業の情報を掲載することで、企業側にもメリットを提供します。運営面では、公民館が活動場所を提供し、その他の運営業務は専門家チームが担当することで、役割分担を明確にしています。


## Q7.不登校の子どもたちが学校の出席扱いとなる可能性はありますか？

本プロジェクトへの参加が学校の出席扱いとなるかどうか重要な課題として認識されています。現在、学校側との連携を強化し、プロジェクトへの参加が子どもたちの教育活動の一環として認められるよう調整を進めています。子どもたちの活動記録（キャリアパスポートなど）を学校と共有することで、彼らの努力や学びが適切に評価されるよう働きかけます。学校指導課長もこの点に関心を示しており、**地域の大人たちが子どもたちを「見ている」というメッセージ**を学校に伝えることで、出席扱いへの道を模索しています。

## Q8.プロジェクトの成果と将来的な展望は何ですか？

本プロジェクトの主な成果としては、**子どもたちの社会との接点が増え、孤立感が軽減されること、自己肯定感が回復し、問題行動が減少すること**を目指しています。また、地域全体で子どもたちを育てる文化が醸成されることも期待されています。将来的には、この喜名地区での取り組みをモデルケースとして、**他の地域や自治体にも展開し、読谷村発の地域モデルとして確立**することを目指しています。最終的には、子どもたちが自らの可能性を信じ、将来に向けて努力できるような社会の実現に貢献したいと考えています。

## 協力のお願い

 ご協力をお願いします

企業協賛募集中

キャリア教育への協力企業を募集しています

連絡先： 株式会社琉球のタネ

 070-5692-4173（さどやま）

 [info@ryukyu-tane.com](mailto:info@ryukyu-tane.com)

 <https://ryukyu-tane.com>

 子どもたちの未来のために 

一緒に"ご縁づくり"をしませんか？

地域の力で、子どもたちが健やかに成長できる環境を作り上げましょう